



神奈川県立田奈高校で「ぴっ
かりカフェ」やバイタインの取
組みを伺いました。
田奈高校は、支援を必要とし
ている生徒に対して、個別、段階
的に支援する「クリエイティブ
スクール」で、30人以下学級で授
業が行われています。教育相談
コーディネーターを配置し、組
織的な補習や学習相談を行うと
ともに、職場見学やインターン
シップへの参加など、体験重視
のキャリア教育も実施されてい
ます。
校長先生は「学校に寄せられ
る求人には事務職がほとんどな
く、求人の質も劣化している。教
育の力だけで支えることは難し
く、生徒やその家庭が抱える経
済的な問題や社会的・経済的自
立に向けた支援が一番の課題」
という話も伺いました。

市民社会チャレンジ基金23期助成団体
「ぴっかりカフェ」を体験
若林ともこ（ネット青葉）
5/21



（市民社会チャレンジ基金助成団
体）の石井正宏さんを始め、卒業
生や地域のボランティアなど、い
ろいろな大人が関わり一緒に過
ごす場所となっています。
校内カフェの取組みは、教育的
有給職業体験プログラム「バイ
タイン」につながっています。地
域の企業や、横浜市子ども青少年
局の協力により、公立保育所でも
生徒の受け入れが進んでいます。
保育士インターンシップ、アルバ
イトで国家資格の受験資格取得
をめざすプログラムは大変有効
に機能しているようです。
昨年閣議決定された「子供の
貧困対策に関する大綱」には、「学
校を子供の貧困対策のプラット
フォーム」と位置付ける考え方が
示されています。田奈高校におけ
る教育、就労、福祉を包括的にサ
ポートする取組みを、県教育委員
会としても制度的に後押し、政策
合意をつくっていくことが必要
です。



子宮頸がんワクチン問題
アクションチームの活動が救済制度に結びつく **県議会** **だより**

佐々木ゆみこ（ネット宮前/県議）

神奈川県が子宮頸がんワクチン接種後
の健康被害に苦しむ人や持続的な痛みな
どにより日常生活に支障を生じている人
に対し、医療費を給付する方針を発表し
ました。3169万円が6月県議会に予算
計上されています。2013年9月に神奈
川県予防接種研究会が設置され、ここ
での議論を経て、国が救済しない中、県が
救済措置を取る方針が示されました。

神奈川県は、子宮頸がんワクチン
接種後に健康被害や副反応に苦しむ被害
実態が次々に明らかになったことから、
2013年6月に緊急学習会を開催し、「子
宮頸がんワクチンアクションチーム」を
立ち上げて活動してきました。

アクションチームでは、大小にかかわ
らず様々な副反応の情報を集め、本人・
保護者が選択できる環境を整えることが
重要と考え、保護者と共に、担当部局や
教育委員会に聞き取りを行いました。さ
らに、市議会や教育委員会への請願・陳
情・要望書を提出し、各議会でも一般質
問で取り上げ、接種の一時中止や被害者
救済を求める国への意見書提出を働きか

けました。また、県議会でも副反応に対
する治療体制の相談機関の充実を求め
ました。その結果、鎌倉市・大和市・茅
崎市・藤沢市が接種者全員への調査を
実施し、アクションチームの取組み成果
として、自治体の相談体制充実や独自の
救済制度、今回の県の方針化に結び付
きました。

ワクチンのメリット・デメリットにつ
いては広く情報公開されるべきです。こ
れまでも予防接種による事故があり、義
務接種から努力接種へと変わっていま
す。しかし、予防接種を受けていないこ
とが悪いかのような指導が保健師や学
校からされるケースも見受けられます。
ワクチンが一括購入され、単独で選択
することが出来ない自治体もあります。今
回の子宮頸がんワクチンについても、法
定接種となる以前から国内外で課題が
指摘されていました。メリットだけでなく、
リスクについても情報公開し、選択でき
る予防接種にしていくことを提案して
いきます。

ネパール大地震
国際協力NGOの活動を聞く **青葉** **地域のうごき**

吉野歌代子（ネット青葉）

6月7日、NPO法人地球の木
理事長丸谷士都子さんと、ネパ
ールの留学生リタ・タパさんにお話
を伺いました。

地球の木は生活クラブの「1食
カンパ運動」から生まれた活動で、
ネパールでは約20年前に識字教
育から支援が始まりました。貧し
い家庭・女子・少数民族を優先
的に支援しており、リタさんもそ
こで教育を受けた生徒です。しか
し、政治情勢が不安定なネパ
ールでは国内に希望が見えず、出
稼ぎや留学で外国に流れ、村には
老人と子どもと女性ばかり。そ
んな中で起きた大地震、死者
8,669人、行方不明者384人、
全壊家屋50万717棟、半壊家
屋26万9190棟にのぼり、家
を失った人々は簡易なシートで作

ったテント生活の中、日々の余震に
よる精神的苦痛、食糧・飲料水
の不足、蠅や虫の増加、健康被
害等に苦しんでいます。

ネパール政府は「ワンドアポリ
シー（支援は勝手にやるな、政府
がまとめる）」と言っていますが
それができるとは思えず「自分た
ちの村は自分たちで良くしよう」と
協同の考えで活動している人々
への支援が求められます。

長年ネパールを支援してきた地
球の木は、現地のニーズに合わせ
テント・医薬品・ミニソーラーパ
ネル等を緊急支援するため募金
を始めました。ネット青葉では地
球の木に協力し、募金活動に取
組んでいきます。

地球の木HP <http://e-tree.jp/>

5つのプロジェクト報告書が完成

- 新しい生き方・働き方研究会
子どもの育ちを社会で支える
子育て支援アクションチーム
- 新しい生き方・働き方研究会
未来につなぐ働き・暮らし
若者の就労支援プロジェクト
- 新しい生き方・働き方研究会
高齢者の生活を地域で支える
地域福祉プロジェクト
- 市民による人間の安全保障研究会
共に生きる社会へ
多文化共生プロジェクト
- 自治と分権を進める政策・制度研究会
自治体の公開度をすすめる
自治体の公開度調査チーム



問合せ
神奈川ネット事務局
TEL 045(651)2011

編集後記
▼日本年金機構から個人情報125万件が流出
した。また、東京商工会議所の会員情報も1万2
千件余流出の可能性が高いという▼このよう
な中で、マイナンバー制度の導入に国民の理解が得
られるであろうか▼国や自治体が社会保障や納
税等に関する情報を効率的に管理できるとし、
年金や税の給付・負担を公平にし、国民には各
種手続きが簡単になるメリットもあるが、特殊詐
欺が年々増加する中で、個人情報漏えいに対する
国民の不安は増大するばかりだ。
(C・M)

神奈川ネットは、
地域政党です。
生活の課題は
政治に直結しています。
国の政党が、地方の政治まで
コントロールするのではなく
多様な地域政党が政策を競い
住みやすいまちをつくる
社会をめざします。

今月の神奈川ネット

- 市民の生活・活動法律相談:6/17(水)・7/15(水)
- 学習会「マイナンバー制度～市民生活はどう変わるか」:6/22(月)
- 第5回運営委員会:6/24(水)
- 第39回臨時総会:7/12(日)

